

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

1 東海普及連合会が第72回中日文化賞を受賞

1947年日本国憲法の施行を記念して制定された中日文化賞を、東海普及連合会が長年にわたる将棋普及の努力を認められ受賞をしました。

中日文化賞は中部地方にゆかりのある学術、人文、芸術、芸能などの分野において、文化の向上・発展に寄与した個人、団体に贈られる極めて荣誉ある賞です。

今回の受賞を含めて受賞者は364人と10団体になりますが、団体の受賞は近年に無い異例のことです。

東海普及連合会は、「愛知、三重、岐阜、の三県で、長年にわたり将棋の普及に力を注いだ。地元のプロ棋士やアマ指導者がこぞって参画し、東海棋界そのものともいえる」との評価を受け、歴史的には1970年板谷四郎九段が日本将棋連盟東海本部を設立し、それを板谷進九段が受け継ぎ、その後アマチュア組織の愛知県支部連合会の組織的普及活動に引き継がれてきました。

また、この普及の流れの中で誕生した藤井聡太七段の驚異的な活躍により、将棋に対する社会的関心の高まりも大きな力となりました。

東海普及連合会の中軸の愛知県支部連合会は、25年前13支部の組織から現在は37支部に発展しています。またアマチュアの将棋指導員も全国で1000名を超えますが、愛知県では約180名に達しています。岐阜、三重を併せると50数支部、200名を大きく超える将棋指導員を有する組織に発展しています。

四半世紀の将棋普及の歩みを振り返ってみて、数多くの将棋指導者及び支部関係者の皆さんとまた故人となられた皆さんも含めてたくさんの方が力を寄せられたことを忘れないで前へ進みたいと思っています。

これまでの将棋普及の流れが確実に引き継がれて、さらに発展していくように引き続き東海普及連合会に力を寄せていただくことをお願いします。

2 瀬戸将棋まつり（瀬戸市制施行90周年）が開催

5月25日(土)及び26日(日)の2日間、瀬戸市制施行90周年の記念イベントとして、瀬戸将棋まつりが瀬戸市文化センターにて大々的に開催されました。主催は瀬戸市等から成る瀬戸将棋まつり実行委員会でした。藤井聡太七段の地元での将棋イベントで、藤井七段の公開対局も実施されたことから、大きな注目を集めました。

特に、藤井七段の公開対局があった25日(土)の文化ホールでは、収容人数1500人のところ、事前申込が2400人を超すということで、主催者もやむなく抽選を行うという状況でした。



内容としては、記念将棋大会（一般大会・こども大会）、指導対局、公開対局、自由対

局コーナー、将棋グッズの販売などでした。

2日間とも大盛況で、瀬戸市制施行90周年にふさわしいイベントとなったことと思います。実施状況は次の通りです。

【5月25日(土)】

1 記念将棋大会（一般大会）（71名参加）文化交流館

	優勝	準優勝	第三位
A 三段以上 15名	高木 健太郎 (多治見市)	伊藤 巧 (春日井市)	加藤 慎士 (岐阜県御嵩町)
			前川 海里 (四日市市)
B 初段～二段 17名	林 亮祐 (一宮市)	渡辺 康正 (犬山市)	小笠原 翔悟 (弥富市)
			松田 侑大 (東浦町)
C 1級～3級 15名	浅井 誠一 (狛江市)	榎本 武 (豊田市)	岩竹 響希 (名古屋市東区)
			佐藤 正徳 (浜松市)
D 4級以下 24名	藤原 孝司 (刈谷市)	青木 良典 (名古屋市東区)	黒野 正士 (豊田市)
			山下 俊郎 (知立市)

2 記念将棋大会（こども大会）（59名）文化交流館

	優勝	準優勝	第三位
小学2年以下 13名	坂井 快行 (小牧市・小牧南小2)	華房 永茉 (名古屋市・なごや小2)	佐藤 大仁 (浜松市・庄内小2)
			森本 睦斗 (揖斐川市・北方小1)
小学3・4年 28名	華房 慶大 (名古屋市・なごや小4)	清水 太陽 (みよし市・三好丘小3)	加納 歩人 (名古屋市・貴船小3)
			安達 誠太郎 (羽島市・中央小3)
小学5・6年 18名	長澤 魁 (瀬戸市・幡山西小6)	鬼頭 直寛 (名古屋市・貴船小6)	畑 幸佑 (犬山市・犬山北小5)
			加納 幹人 (名古屋市・貴船小6)

こども大会の上記12名の成績優秀者は、藤井聡太七段に12面指しでチャレンジしました。

3 指導対局 文化ホールロビー

木村一基九段、井上慶太九段、宮本広志五段、西田拓也四段、池永天志四段、室田伊緒女流二段、中澤沙耶女流初段、脇田菜々子女流1級が3面指しで、午前1回、午後2回の時間帯で指導対局を行いました。106名の指導対局となりました。

なお、時間帯により指導棋士は適宜変更して指導対局が行われました。

4 開会式・公開対局 文化ホール

公開対局に先立ち開会式が行われました。伊藤保徳瀬戸市長らの挨拶の後、井上慶太九段の挨拶がありました。

その後、木村一基九段VS藤井聡太七段の公開対局が行われました。解説は井上慶太九段、室田伊緒女流二段でした。対局は先手の藤井聡太七段が見事勝利し、地元ファンを沸かせました。

【5月26日(日)】

1 記念将棋大会（一般大会）（38名参加）文化交流館

	優勝	準優勝	第三位
A 三段以上 6名	古野 知典 (瀬戸市)	長澤 魁 (瀬戸市)	堀内 健太郎 (名古屋市守山区)
			小坂 健 (名古屋市名東区)
B 初段～二段 12名	西部 雅樹 (尾張旭市)	井上 健一 (名張市)	木村 篤雄 (名古屋市緑区)
			大岩 岳人 (小牧市)
C 1級～3級 6名	井上 祐二 (瀬戸市)	古井 敏憲 (尾張旭市)	浅井 誠一 (狛江市)
			市川 哲也 (名古屋市港区)
D 4級以下 14名	井亦 尚仁 (岡崎市)	古野 雄大 (瀬戸市)	富士田 将志 (豊田市)
			片岡 祐介 (名古屋市西区)

2 記念将棋大会（こども大会）（59名）文化交流館

	優勝	準優勝	第三位
小学2年以下 13名	伊藤 千智 (弥富市・弥生保年長)	佐々 慎朔 (名古屋市・汐路小2)	室 奏太朗 (瀬戸市・效範小2)
			岡田 凱人 (長久手市・北小2)
小学3・4年 28名	伊藤 誇吾 (海津市・今尾小3)	杉本 京介 (名古屋市・筒井小4)	小泉 滉太 (名古屋市・野田小4)
			長野 帆高 (日進市・南小3)
小学5・6年 18名	白井 亮太郎 (豊橋市・旭小6)	小平 行真 (札幌市・桜山小6)	鬼頭 直寛 (名古屋市・貴船小6)
			不破 寛人 (日進市・南小5)

こども大会の上記12名の成績優秀者は、斎藤慎太郎王座に12面指しでチャレンジしました。

3 指導対局 文化ホールロビー

斎藤慎太郎王座、佐藤康光九段、木村一基九段、脇謙二八段、杉本昌隆八段、菅井竜也七段、宮本広志五段、西田拓也四段、池永天志四段、竹内貴浩四段、室田伊緒女流二段、中澤沙耶女流初段、脇田菜々子女流1級が3面指しで、午前1回、午後2回の時間帯で指導対局を行いました。171名の指導対局となりました。

なお、時間帯により指導棋士は適宜変更して指導対局が行われました。

4 開会式・公開対局 文化ホール

公開対局に先立ち開会式が行われました。伊藤保徳瀬戸市長の挨拶の後、佐藤康光九

段の挨拶がありました。

その後、斎藤慎太郎王座VS菅井竜也七段の公開対局が行われました。解説は杉本昌隆八段、室田伊緒女流二段でした。対局は後手の斎藤慎太郎王座が勝利しました。

3 蒲郡発！港の見える会場からの熱戦譜

第33回蒲郡ふれあい将棋名人戦が5月26日（日）に蒲郡市三谷公民館で開催されました。この日は晴天、気温は30度を越しても爽やかな海風が会場を優しく包み込みます。三河湾は風、窓辺に寄ればヨットや観光船が悠々と滑走していく景観に心が和みます。

さて、競技は三河湾の穏やかな水面とは裏腹に波乱にとんだ内容でした。指し手戻しや、時間切れ負けが随所にでてしまい、熱い声援を送る親御さんからも思わず声が出たり、令和になって初めての大会にしてはいささか反省がありました。持ち時間25分切れ負け、あと5分あれば……。変更を考えています。

ところで、主催者側の喜びのひとつに楽しく指す光景が見られることです。互いに三味線を交えながら、あたかも吉本新喜劇を観ているような雰囲気もあり、フレンドリーで愛知県大会ではみられない地方色豊かなところですよ。表彰式でも実に微笑ましいことでしょうか。次の皆さんが入賞されました。



蒲郡支部 棋道師範 小田賢一

	優勝	準優勝	第三位	敢闘賞
Aクラス 13名	岡田 栄生 (豊川市)	川合 秀知 (岡崎市)	大村 彰一 (幸田町)	小出 峻也 (幸田町)
Bクラス 10名	三浦 正男 (蒲郡市)	大村 征也 (蒲郡市)	梅田 涼汰 (蒲郡市)	星野 好則 (蒲郡市)
Cクラス 19名	安部 圭矢 (幸田町)	山崎 哲大 (幸田町)	山田 湊斗 (蒲郡市)	山崎 智久 (幸田町)

4 第77期名人戦解説会に小林健二九段が来場

第77期名人戦第4局の全国一斉解説会が5月17日（金）に開催されました。

愛知県では、愛知県支部連合会の主催で、名古屋栄の愛旅連ビル会議室にて開催いたしました。

解説棋士には、故板谷進九段門下で所縁の深い小林健二九段にお越しいただきました。午後1時から是指導将棋（6名参加）、午後5時から解説会（21名参加）をお願いしました。

挑戦者の豊島将之二冠が佐藤天彦名人に対して、3連勝という状況での第4局解説会で、豊島新名人誕生を期待する雰囲気の中、解説会が進められました。

小林九段の解説は、初心者にもわかりやすく、また、アマ高段者にも納得の深い読み筋



を披露され、とても好評でした。また、故板谷進九段とのエピソードも興味深く話をされました。

対局は、豊島二冠が終始手厚い状況で、小林九段が、新名人間違いなしという発言も飛び出しました。そして、午後8時59分佐藤名人が投了し、4連勝という圧倒的な内容で、愛知県出身の新名人が誕生いたしました。関係者の取材もあるなど、盛り上がりを見せました。

なお、次の一手は2回実施し、合計10名の皆様に賞品が手渡されました。

5 一宮市で、女流棋士10名VSアマチュア女性100名を目指して

5月6日(月)に尾張一宮駅前iビルで、第2回「将棋女流棋士10名による、女性100名のぐるぐる将棋」と題する催しがありました。

地元出身の中澤沙耶女流初段、脇田菜々子女流1級が誕生したことになみ、日本将棋連盟公認棋道師範の神田和徳さんらが「一宮市を女流棋士のまちにする会」を立ち上げ、参加者を女性に限る企画を考えました。それに春日井市出身の室田伊緒女流二段が応えて、村田智穂女流二段・長谷川優貴女流二段ら10名が一堂に会しました。参加者も関東・関西を含む、小学生～高齢の方までの女性のみで80名を超え、中には東海研修会で女流棋士を目指す強豪も多く参集しました。



開会式後には、①記念写真…10名のプロに囲まれて1名ずつ撮影し帰りまでに完成配布される ②ぐるぐる将棋…参加者が座る長テーブルをプロが順番に回る指導対局 ③懇親会…お茶とお菓子が参加者と引率者に配られたなど、いずれもユニークな内容で、笑顔があちらこちらで見られる催しでした。

閉会式では、令和2年5月に第3回開催決定の紹介があり、100名達成へ向けて再会をお互いに約し合い、とても盛会でした。

棋道指導員 渋谷文博

6 第1回伏見地下街こども将棋まつりが開催

大型連休の終盤の5月5日(日・祝)こどもの日に、名古屋市中区伏見の「伏見地下街」で、第1回伏見地下街こども将棋まつりが開催されました。会場は、地下鉄東山線「伏見駅」東改札口から直結の伏見地下街でした。伏見地下街は、昭和32年開業の東西約250mの細長い地下通路の形状で、現在約40店舗が営業しており、昭和レトロの雰囲気のある場所です。

主催は、伏見地下街協同組合で、こどもさん方にも、この場所を知ってもらい、伏見商店街の振興を図ることを目的に、急遽開催の運びとなりました。



何分、準備・周知時間が短い中、また大型連休中の開催となりましたので、どの程度のこどもさんが参加されるのかという懸念もありましたが、午前9時前から親子連れの行列ができ、予定を早めて午前9時20分に受付を開始しました。

結果として、こども将棋大会には122名の参加があり、また、付添いの保護者の方も多くお見えになり、大盛況の状態でした。

こども将棋まつりの内容として、①こども将棋大会、②杉本昌隆八段のトークショー、③初心者コーナー・自由対局コーナーでした。

こども将棋大会は、細長い通路に、机を横長に100脚並べて、小2年以下、小3・4年、小5・6年の3クラスで実施しました。

参加は無料で、参加者全員に、ジュース（伊藤園）、フライドポテト券（マクドナルド）、缶バッジ（瀬戸市）がプレゼントされました。

杉本昌隆八段のトークショーでは、将棋大会受付の際に杉本八段に聞きたいことのアンケートをもとに実施されました。将棋の振り飛車戦法はどうすれば上達するかとか、弟子の藤井聡太七段に関する質問もあり、和やかな雰囲気でのトークショーとなりました。

その後、河村たかし名古屋市長、伊藤保徳瀬戸市長がお越しになり、3名でのトークショーということで盛り上がりを見せました。

表彰式では、杉本昌隆八段、主催者の伏見地下街協同組合の小池建夫理事長、名古屋市政功労者の斉藤実氏が立ち会いました。成績優秀者には、将棋連盟の表彰状のほか、協賛社からの記念品が授与されました。また、優勝者には名古屋市長からの表彰状も授与されました。

小池理事長からは、今回の盛況を踏まえ、来年も開催したいという意向が示されました。次回は、こども将棋大会終了後も多くの参加者が楽しめるよう、プロ棋士による指導対局といったことも検討されるとさらに盛り上がるのではと感じました。

	優勝	準優勝	第三位
小学2年以下 39名	伊藤 千智 (弥富市・弥生幼年長)	西村 恒希 (名古屋市・陽明小2)	坂井 政士郎 (東海市・加木屋南小3) 田中 壮瑛 (名古屋市・旭丘小2)
小学3・4年 44名	長崎 天飛 (交野市・岩船小4)	坂井 慶一郎 (東海市・加木屋南小4)	久島 直士 (豊中市・緑池小4) 櫛田 征志 (名古屋市・なごや小4)
小学5・6年 39名	長澤 魁 (瀬戸市・幡山西小6)	坂本 大毅 (日進市・日進南小5)	柳 直大 (名古屋市・平針南小5) 佐々 奏太 (名古屋市・東志賀小6)

7 第14回市長杯名古屋・小・中学生将棋大会

毎年、「名東区民まつり」5月12日開催に協賛して愛知東邦大学・教室を会場として将棋大会を開催しております。区内4会場の一つである学東邦学園でイベントを開催されました。

9時15分の受付時間前には愛知・岐阜・三重県からの参加者その家族と共ぞくぞくとご来場されました。受付時間を繰り上げ9時00分受付開始。実施クラスは、初心者部・低学年部・高学年部・中学生部の4クラス、初心者部の3教室の会場に別れ初心者以外は引いたくじ番席へ。会場は対局前の和やかな雰囲気の中、開会式を始めました。



主催者挨拶に、二つのお願いとして 1、王様は必ず2つかできれば3つ動かして下さい
2、将棋の基本「三手の読み」から良い手を発見して下さいと挨拶。来賓の愛知県支部連合会・理事・鬼頭孝生棋道師範・審判長の挨拶の後 谷口登棋導指導員からルール説明、審判長の合図で一斉に熱い戦いがはじまりました。

初心者の部は参加資格で全員初参加者ばかり、覚えた戦法で対戦していました。昨年の初心者の部から低学年の部に参加へ、棋力の向上を得てクラスを替へ多数参加してくれました。付き添いの家族は心配そうに遠くから我が子の対局を見守っている様子、結果が気に成る様子。初心者と低学年の部は時間を気にせず指して欲しいと対局時計なしとしました。初心者はスイス式対局とし、低学年以上予選はリーグ戦対局・午後からは本戦トーナメント式としました。高学年の部・中学生の部は時間を上手に使い日ごろ切磋琢磨した成果を信じ指している模様です。

11時、お招きしたプロ棋士・北浜健介八段・池永天志四段が来訪され対局中断してご挨拶を頂き、直ちに午前の部の指導対局を開始、予選敗退者は両先生とそれぞれ5面の席で待ち構えているところへ開始。初心者の部会場では、主催者教室・講師の指導対局を午前11時から開始。昼食休憩後、両先生の指導対局に入り、鬼頭師範・谷口棋導指導員も加わり多くの参加者に指導対局を実施致しました。感想戦ではプロの先生からワンポイントの助言を頂き良い経験と将棋の楽しさを体験したものと思います。プロ棋士・棋道師範・棋導指導員との対局後プロ棋士から、認定された級位証で自分の棋力が判り今後の励みに成る事と思います。

各クラス順調に推移し、熱闘の結果入賞者も決定、表彰者をご父兄様等の写真撮影。本日の大会を、外部スタッフと共に無事に終了出来て安堵いたしました。

名古屋と金クラブ支部 棋道指導員 後藤克義

	優勝	準優勝	第三位
初心者の部 26名	宮地 勇翔 (守山区・小2)	梶田 悠喜 (春日井市・小4)	川角 祐生 (小牧市・小1)
低学年の部 45名	伊藤 誇吾 (岐阜県海津市小3)	井上 岳 (大和郡山市・小2)	伊藤 侑輝 (豊田市・小3)
高学年の部 81名	伊覇 逞 (北区・小6)	白井 亮太郎 (豊橋市・小6)	神野 来樹 (関市・小4)
中学生の部 30名	岩田 悠佑 (各務原市・中1)	櫻井 皓太 (海津市・中1)	富田 文希 (多治見市・中2)

参加者計182名、指導対局 北浜健介八段24名、池永天志四段27名 計51名

8 第15回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦愛知県大会

- (1) と き 令和元年6月8日(土) 小学生の部 AM9:30～受付 AM10:00対局開始
令和元年6月22日(土) 中学生の部 AM9:30～受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 中日新聞社北館4階ホール・401会議室
- (3) ク ラ ス ①小・中学校将棋団体戦愛知県大会
愛知県内の同一小・中学校の3名1組
②小学生将棋団体交流戦
小学生の3名1組 (同一小学校でなくても参加できます)
- (4) 参 加 費 1チーム1,500円
- (5) 申 込 方 法 往復はがきに、クラス、学校名、選手名、学年、代表者名と電話番号を記入し、〒460-0008名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A 日本将棋連盟愛知県支部連合会まで。小学生の部は5月31日(金)必着、中学生の部は6月14日(金)必着

- (6) 表彰 第三位までに賞状・賞品
小・中学校将棋団体戦愛知県大会の上位2チームが西日本大会に愛知県代表として参加
- (7) 主催 中日新聞社 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (8) 後援 愛知県 愛知県教育委員会 名古屋市 名古屋市教育委員会
- (9) 協力 日本将棋連盟東海普及連合会
- (10) 問合せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

9 第4回名城大学杯将棋大会

- (1) と き 令和元年6月16日(日) AM9:00～受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス
名古屋市東区矢田南四丁目102番9
- (3) ク ラ ス 小学2年生以下、小学3・4年生、小学5・6年生、中学生、高校生
- (4) 定 員 500名
- (5) 参加費 500円(参加賞あり)
- (6) 申込方法 往復はがきに、住所、氏名、ふりがな、電話番号、学校名、学年を記入し、〒460-0008名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A
日本将棋連盟東海普及連合会「第4回名城大学杯将棋大会」係まで。6月7日(金)必着
- (7) 参加棋士 糸谷哲郎八段 杉本昌隆八段 中田章道七段 中山則男六段
竹内貴浩四段 ほか
- (8) 主 催 名城大学
- (9) 共 催 名城大学スポーツ・文化後援会 日本将棋連盟東海普及連合会
- (10) 後 援 中日新聞社 愛知県・同教育委員会 名古屋市・同教育委員会
- (11) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

10 第73回全国アマチュア将棋名人戦愛知県大会

・中日杯争奪将棋大会

- (1) と き 令和元年6月30日(土) AM9:30～受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 名古屋港湾会館第1会議室
- (3) ク ラ ス ①愛知県大会
②中日杯争奪将棋大会
Aクラス(有段者)、Bクラス(1～3級)、Cクラス(4級以下)、
Dクラス(7級以下の小中学生)
- (4) 資 格 ①は愛知県在住者、②はどなたでも参加できます。
- (5) 参加費 一般3,000円(2,500円)、大学生2,000円(1,600円)、
女性・高校生1,500円(1,200円)、中学生以下1,000円(800円)
()内は日本将棋連盟支部会員(会員証提示にて)
- (6) 表 彰 ①優勝者2名に全国大会の出場権と四段免状
②成績優秀者に賞状・賞品
- (7) 主 催 中日新聞社 日本将棋連盟東海普及連合会
- (8) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

11 2019年度夏休み小学生将棋講座

- (1) と き 令和元年7月30日(火)～8月2日(金) AM10:00～PM4:00

- (2) ところ とだがわこどもランド 名古屋市港区春田野一丁目3616
- (3) 資格 将棋の指し方がわかり4日間参加できる小学生
- (4) 定員 公募40名
- (5) 参加費 4,000円(教材費等を含む)
- (6) 申込方法 往復はがきに郵便番号、住所、氏名、ふりがな、学校名、学年、保護者氏名、電話番号を明記し、〒460-0008名古屋市中区栄四丁目12-21第2栄スカイトウン4A 日本将棋連盟東海普及連合会「夏休み小学生将棋講座」係へ。7月16日(火)消印有効
- (7) 主催 とだがわこどもランド
- (8) 共催 日本将棋連盟東海普及連合会
- (9) 問合せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

12 栄将棋教室夏休み将棋講座〈Sクラス〉

- (1) と き 令和元年8月5日(月)～6日(火) AM10:00～PM5:00
- (2) ところ 栄将棋教室
- (3) 定員 奨励会、研修会等を目標とする小・中・高校生 50名(先着順)
- (4) 参加費 10,000円(弁当付、棋書を含む)
- (5) 講師 竹内貴浩四段
- (6) 申込方法 氏名、ふりがな、学校、学年、住所、電話番号をメール(kartracer@pdx.ne.jp)又はFAX(052-264-0655)で
- (7) 主催 栄将棋教室 代表 中山則男六段
- (8) 協力 日本将棋連盟東海普及連合会・中部学生将棋連盟
- (9) 問合せ 棋道師範 竹内努 電話070-5642-6943

13 今後の予定

- 6月8日(土) 第15回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦愛知県大会(小学生の部)
- 6月9日(日) 杉本昌隆八段の昇段昇級を祝う会
- 6月16日(日) 第32回全国高等学校将棋竜王戦愛知県大会
- 6月16日(日) 第4回名城大学杯将棋大会
- 6月22日(土) 第15回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦愛知県大会(中学生の部)
- 6月23日(日) イオンモール杯争奪2019こども将棋王決定戦中部Bブロック
- 6月29日(土) 第15回とよたふれあい将棋フェスティバル
- 6月30日(日) 第73回全国アマチュア将棋名人戦愛知県大会・中日杯争奪将棋大会
- 7月30日(火)～8月2日(金) 2019年度名古屋市夏休み小学生将棋講座
- 8月1日(木) 名古屋ふれあい将棋フェスタin名古屋松坂屋
- 8月5日(月)～6日(火) 栄将棋教室夏休み将棋講座〈Sクラス〉
- 8月10日(土) 第3回名古屋城こども王位戦予選

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。
 東海普及連合会のサイト(<http://shogitokai.sakura.ne.jp/>)からダウンロードしていただくこともできます。
 東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所
 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイトウン4A
 電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp